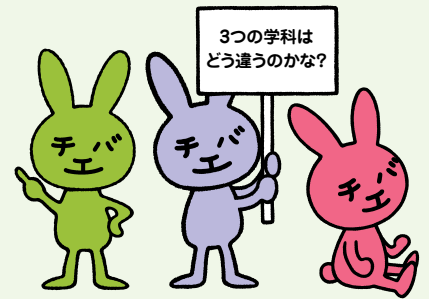


ここが違うよ！ 社会システム科学部3学科



経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科、金融・経営リスク科学科。
社会システム科学部の3学科はどこが違うのか？
先生にとことん聞いてみました。

文化祭での“お化け屋敷” を例に考えてみると…



●経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科、金融・経営リスク科学科。学科名を見ると、どれも経営学の一分野に思えますが、いかがでしょう。

小野@経情 その通りです。経営学は、会社が生き残っていくためにはどうすればよいかという経営者の悩みの中から発達した学問です。それには、いろんな情報を集めて、会社が今どんな状況なのか、その数字をどうやって引き上げるのかを考えなければいけない。そこでいろんな研究者が頭をひねり、理論を一步一步構築していきました。経営情報科学科で学ぶのは、歴代の経営学者が積み上げてきた理論と手法。具体的な数字を使って科学的にアプローチする演習をふんだんに取り入れているところが、文系の経営系学科との違いです。

●プロジェクトマネジメント学科は、どんなことを学ぶのでしょうか。

田隈@PM 一言で言えば、早く・安

く・良いものをつくるには、現場をどうコントロールしたらいいかを考えるのがプロジェクトマネジメントです。例えば、文化祭でお化け屋敷をつくるというプロジェクトがあったとします。経営情報科学科で学ぶのは、生徒会で学校全体の企画を立て、各クラスやサークルに予算を配分するときの考え方。一方、プロジェクトマネジメント学科では、どうすれば限られた予算で当日までにお化け屋敷を完成させるかの手法を学ぶわけです。

●それでいくと、金融・経営リスク科学科は、どういうことになるのでしょうか。

喜多村@金融 そうですねえ。生徒会で今までやってなかったんだけど、野外ステージをつくるのはどうだという意見が出たとします。お客さんはきっと大喜びだけど、雨が降ったらどうするのかとか、ご近所から騒音の苦情が来るかもしれないとか、お金が足りなくなるかもしれないといったリスクがある。でも、そこであきらめてしまったら、これまでと代わり映えのしない文化祭になって、ライバル校にお客さんが流れるかもしれない。で



●経営情報科学科
小野 浩之助教

は、このリスクを最小化するにはどうすればいいのか、リスクを取る、取らないの判断はどこですのかといったことを学ぶのが、金融・経営リスク科学科ということになるのでしょうか。

●なるほど。どれも魅力的ですね。一つに決めかねる場合は、どうすればいいでしょう。

小野@経情 会社の経営を幅広く学びたいなら、経営情報科学科が良いと思います。会社の中で飛び交っている情報を分析して決断を下すセオリーを学びま



すので、数字を交えた論理的な思考力が身につきます。これは将来、仕事に限らずいろいろなシーンで活用できますよ。入学後のコースや授業の選択次第では、リスクやプロジェクトマネジメントに関する実践的な講義も受けられます。

田隈@PM プロジェクトマネジメント学科は、実際に新しい製品・サービスを自分の手でプロデュースしたい人にお勧めです。学級委員や部長として組織をリードしてきた人、単純に計画力や決断力を身につけたい人なんかに向いていると思います。こちらもコースや授業の選択次第では経営情報科学科でやっている会社全体を俯瞰するような科目も選択できるので、現場と経営の両面をカバーできる人材をめざせますよ。

喜多村@金融 金融を学びたいと明確に決まっていれば金融・経営リスク科学科です。金融のほかにも、リスクマネジメントを中心に、いろんな分野について学べるのも良いところです。有能な人が辞めてしまうかもしれない、取引先が倒産するかもしれない、現場で事故が起こるかもしれない、かといって何もしなければ他社に抜かれてしまうかもしれない。このように、経営とリスクは切っても切り離せない関係です。うちの教員は、リスクという共通のキーワードでつながっていますが、それぞれが異なる専門分野の出身なので、研究の対象領域は群を抜いて多いです。将来やりたいことがまだ決まっていない人でも、うちに来ればきっとフィットする研究室が見つかるでしょう。



●プロジェクトマネジメント学科
田隈 広紀 准教授

気になる! 3学科の雰囲気は?



●3学科の違いがだいぶ見えてきました。学生の雰囲気はどうですか?

喜多村@金融 かなり違いがあると思いますよ。いちばん元気がいいのはプロジェクトマネジメント学科でしょうね。授業をのぞいてみるとテンションは高いし、一人ひとりのキャラクターが立っているという印象があります。

田隈@PM 実践的な学問だけに高校生の頃から目的意識がはっきりしている学生が多い気がしますね。将来は起業してやろうという意欲に燃えた学生もけっこういます。授業のスタイルもあるかもしれませんね。チームを組んで、具体的な課題を解決するシステムや新製品を議論し、それを外に向けてプレゼンテーションする、という活動を繰り返しているうちに、自然と声が大きくなっていくかもしれません。

小野@経情 経営情報科学科でも同じような授業スタイルを取り入れています。うちの学科は、どちらかというと冷静沈着、コツコツと課題をこなしていくタイプが多いかもしれません。

喜多村@金融 金融・経営リスク科学科の学生は、自分の世界を持っているというか、一人ひとり個性があって、多様性があるなど感じますね。自分の気になることをテーマにリスクを考えてみようなんてことをやっていますから、自然と自分自身と向き合うことが多くなるかもしれませんね。

頼れる人になれるし、 就職にも有利



●では最後に、学科を問わず社会システム科学部のここが良いというところを聞かせてください。

小野@経情 広い視野が持てるようになるのは間違いありません。社会を見て、人を見て、歴史も学びますから、ぐっと世界が広がるでしょう。これから先の人生で難しい選択を迫られることがあっても、豊富な知識をもとに冷静に判断できるようにするはずですよ。



●金融・経営リスク科学科
喜多村 正仁 助教

田隈@PM それはありますね。経営学の手法は、人生設計や旅行の計画にも応用できるので、「頼れる人」になれるんじゃないでしょうか。ただ、恋人に向かって人生をプロジェクトマネージャ風に語ると、理屈っぽいと顔をしかめられるかも(笑)。

喜多村@金融 僕は数学科の出身なので、数学が好きになるというのも、メリットとして入れておきたいですね。数学が嫌いな理由として、ひたすら計算をしたり、グラフを描いたりする高校までの数学が、無味乾燥に感じてしまうことも大きいと思います。「 x や y を求めて何になるの?」と。社会システム科学部で使う数学は、 x や y に価格や販売量といった「色」がついていたり、人間心理や社会の仕組みを反映していたりします。話題のニュースや身近な人間関係が数学を使って解けるなら、きっとおもしろいと感じるでしょう。むしろ数学が苦手という人にこそ来てほしい!

小野@経情 就職活動にも大いに役立ちますよね。市場動向で毎年求職の多い業種は変わりますが、経営のノウハウはどの業種にも共通していますから、就職先の選択肢が多い。

田隈@PM 社会に興味があって、自分もそこで何か価値のあるものを残していきたい、または、どんな状況でも合理的・効率的に物事を進めていく力を身につけていきたいという人には、刺激的でおもしろい4年間が過ごせると思います。そんなみなさんの入学を待っています。